

学生担当者報3

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp Vol. 445 立教 187 年 2024 年 2 月 25 日発行

TSA Website <https://tsa.tenrikyo.or.jp> Happist <https://happist.net>

お知らせ

三月例会

期日…立教 187 年 3 月 25 日
時間…15 時 30 分受付 16 時開始
会場…教庁 4 階講堂

報告

一月例会

去る 1 月 25 日、教庁 4 階講堂において「1 月例会」を開催。出席は 31 教区、89 直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・鳥取 1 月 30 日 教務支庁

高井義誠委員出向 40 名

【直属学生層育成者講習会】

・此花 1 月 24 日 大教会

平野総吉委員出向 130 名

人事

《立教 187 年 1 月 25 日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

- ・是則ちなみ（中津・小倉）
- ・福田隆一郎（南紀・神原）
- ・高木百喜久（津軽・奥羽）

業務記録

《立教 187 年 1 月 16 日～2 月 15 日》

- 1 月 17 日 学生連絡会
- 18 日 事務局連絡会
- 24 日 担当者活動部部会
- 25 日 委員会 例会
- 27 日 広報室会議
- 27 日 学修大学の部
- 27 日 事前研修会（～29 日）
- 27 日 学修高校卒業生コース
- 27 日 事前研修会（～28 日）
- 2 月 1 日 学生部部会

「春の学生おぢばがえり」



以前、何気なく見ていたテレビ番組で

マツコ・デラックスさんが、『大人は若者がやっていることが理解できないから、理解しようと勝手に型とか枠におさめようとする』と言っていました。確かにその通りだなあ…と。私も身も学生との年齢の開きがずいぶん出てきましたが、それを言い訳にして学生への関心であったり、アプローチをないがしろにしてしまいがちです。

さて、3 月は「学生生徒修養会 大学の部」「高校卒業生コース」があり、その後には「春の学生おぢばがえり」（以下、春学）が開催されます。

春学の対象者は高校生（新 1 年生を含む）・大学生・短期大学生・専門学校生・大学院生となつていますが、この年齢層は「Z 世代」と呼ばれ、1990 年後

半から 2000 年代に生まれた世代であります。

今の Z 世代と呼ばれる高校生や大学生は「社会貢献意識」が高く「学歴に捉われずやりたいことをやる」と思っている反面、「自分は社会を変えることはできない」「日本と自身の未来は明るくない」と考えているようです。これらのことから『情熱的に見えて、実はリアリスト』というクレバーな一面を持ち合わせていることが考えられます。

彼らはこれからの時代を担っていく世代であり、どう活躍の場を広げていけるかは社会にとってもお道にとつても重要なテーマです。また、2022 年にリクルートマネジメントソリューションズが Z 世代である新入社員に対して「仕事をするうえで重視すること」を聞いたアンケートの結果では、いわゆる金銭や競争といったような外発的動機よりも、貢献・成長・やり

学生部 委員

紺谷 清一郎

がいといった内発的動機を重視する傾向が強いことが分かっています。

春学という行事は全国から道につながる学生が親里・ぢばに帰り集い、親神様・教祖に日頃の感謝を申し上げ、笑顔が広がる姿をご覧いただく場であり、まさに貢献・成長・やりがいを感じることができ行事であるように思います。さらには、真柱様から頂戴するお言葉を拝聴することで、自身の未来を明るく変えるきっかけにしたいです。

学生のお世話取りを担う私たち担当者が、今年の春学に向けて、一人でも多くの学生がおぢばに帰り集うことができるよう、年の差を気にすることなく関心を持ってアプローチしていきたいです。

令和 6 年 学生担当委員会 活動方針

「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」

- 7 日 学修部部会
- 7 日 学修係員チーム会議
- 8 日 まなびばチーム会議
- 8 日 委員会
- 8 日 春の学生おぢばがえり
- 9 日 プロジェクトチーム会議
- 9 日 人材育成部部会
- 9 日 広報室会議
- 9 日 学修大学の部研究室
- 10 日 学修高校卒業生コース研究室
- 10 日 学修高校の部研究室
- 10 日 学生連絡会

「学生生徒修養会 大学の部」事前研修会開催報告

1月27日～29日にかけて、本部第7・8・9母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、192名が参加した。今年も、よりきめ細やかな丹精を目指して、「みのり塾」「いさみ塾」「よふき塾」「まこと塾」の4塾に分かれ、塾長・副塾長を中心に男女カウンセラーが世話取りにあたり、庶務係・進行係が塾運営を担う体制をとる。

研修会ではエクササイズ実習を始め、「受講生と接する際の心構え」についての講義や係ごとの打ち合わせを実施した。

今年のテーマは「かしものかりもの」ご恩について考えよう

「〜」としている。2日目の清水委員長の講話では、信仰をする上で親神様を親と捉えお慕いすることが大切である。また、親が尽くしてくれている真心を知り、受け止めることでご恩が感じられる。私たちは元の理を通して親神様がお尽くしくだされた真心をしつかりと受けとらせていただき、そのご恩に気付かせていただくことが大切であると話した。

スタッフ一同は研修会を通して学んだことを心に治め、本期間に向けて各自が理づくりに励むことを誓い合い、幕を閉じた。

青 空

大学一年生の夏。父の出直しという節の中、大学を続けるか、教会に帰るかという選択を迫られ、誰にも言えずに一人思い悩んでいた。そんな時に参加した、「学生生徒修養会 大学の部」で、同年代の仲間と共に過ごし、自分の心の向きが大きく変わり、信仰について考えることができるようになっていったことを思い出す。

自分の胸の内を話すことは勇気のいること、自分をさらけ出すことは怖いこと。そんな時に、この場所なら、このメンバーならと安心して話すことができる場がそこにはあったのだと思う。

そうした場を提供するためには、お世話取りする担当者の誠実さが欠かせない。今、こうして学担のご用に携わる中で、自分自身もこうしてたくさんの方に心をかけてもらって導かれて今があるのだと実感をする。目には見えない多くの心配りが、心から安心できる場、信仰と向き合う時間を創っているのだと。

お与え頂くご用をつとめる中で、自分自身も共に育つ努力を積み重ね、心を込めて今日も目の前の学生の話に全身全霊で耳を傾けていきたい。

人材育成部部長 平野 大心

「学生生徒修養会 高校卒業生コース」事前研修会開催報告

1月27日～28日にかけて、本部第12母屋を会場に「スタッフ事前研修会」を行い、160名が参加した。高校卒業生コースは、高校卒業という人生の大きなターニングポイントを迎える高校卒業生を対象にしており、卒業後どのような環境においても、おちばや教会に繋がり、教えを振り所とした生活を送ることを目指して、親神様のみ教えを学ぶと共に、同世代とのつながりを深めることを目的としたものである。

研修会では、エクササイズの進め方や心の使い方を実習を通して学び、2日目の委員長講話

で清水委員長は、おちばのご用の大切さと務める者の心構えについて言及し、おちばに帰ってくる高校生に親神様・教祖の子供可愛い親心を取り次いでもらいたい。そして、互い立て合いたすけ合いの陽気ぐらしの姿を目指し、真心を込めて学生たちを導いてもらいたいと話した。

1月27日には大学の部・高校卒業生コースのスタッフが一堂に会し、表統領 中田善亮先生からご挨拶を頂き、一手一つに人材育成のご用をつとめる決意をした。

QRコード読み取り



明日につながる
学生WEBSITE
Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おちばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET
ハッピースト ネット

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
部数のご変更は学生担当委員会事務局まで。